

瀬戸内海 1R

第1問

瀬戸内海では「豊かな海」を守るために、森林の手入れやため池のかいぼりなど、様々な取り組みが行われています。では、その「豊かな海」とはどのような海のことを指すのでしょうか？

- 1 海水温が低い水や高い水など多様な温度が形成された海
- 2 塩分濃度が低い水や高い水など多様な濃度が形成された海
- 3 魚のエサとなる動物プランクトンが豊富な海
- 4 海にとけ込んだ栄養分のバランスが保たれた海

答え

日本海 1R

第1問

兵庫県には、瀬戸内海と日本海という2つの特徴の異なる海に面しています。日本海の特徴として、間違っているものは次のうちどれでしょうか？

- 1 冬は季節風が強く、波が高い日が多い
- 2 冷たい海水を好む魚と暖かい海水を好む魚まで魚の種類が豊富
- 3 100mより浅い海域が広い
- 4 自然海岸が多く、海岸線の地形が変化に富む

答え

瀬戸内海 1R

第2問

海の森とも呼ばれる「藻場」は、豊かな海を守るために大事なはたらきを担っています。藻場の説明として間違っているものは、次のうちどれでしょうか？

- 1 多くの生き物の産卵場や稚魚が育つ場となっている
- 2 海水中の栄養分を吸収して水質浄化を行っている
- 3 人間が海藻を過剰に利用するため、藻場が減少している
- 4 海藻が付きやすい岩を海中に沈めて藻場を再生している

答え

日本海 1R

第2問

日本海も瀬戸内海と同様に藻場が形成されていますが、海藻がほとんどなくなって岩肌が露出してしまふ「磯焼け」という問題が発生してしまっている場所もあります。これは、海藻を食べるムラサキウニが増えたことが原因の一つと考えられています。ウニが増える理由として間違っているものは次のうちどれでしょうか？

- 1 冬は季節風が強く、波が高い日が多い
- 2 冷たい海水を好む魚と暖かい海水を好む魚まで魚の種類が豊富
- 3 100mより浅い海域が広い
- 4 自然海岸が多く、海岸線の地形が変化に富む

答え

瀬戸内海 2R

第1問

実際に海に入っただ海藻観察や海藻の標本づくりを行ったと思います。岩屋ではたくさんの種類の海藻が生息していましたが、寒天の材料となる海藻は次のうちどれでしょうか？

- 1 カジメ
- 2 アカモク
- 3 ユカリ
- 4 マクサ

答え

日本海 2R

第1問

日本海のリアス海岸の入江につくられた港、宇日漁港を見学しました。宇日漁港では、「磯見漁」に使う舟をしまっておく「舟屋」がたち並んでいます。では、舟を舟屋にしまっておくのはなぜでしょうか？

- 1 潮が引いたときに、船が陸に上がってしまうから
- 2 舟に様々な漁具を積み込むときに便利だから
- 3 冬場の強い波風から舟や漁具を守る必要があるから
- 4 貝やフジツボなど付着する生き物から舟底を守る必要があるから

答え

瀬戸内海 2R

第2問

岩屋漁港で水揚げされた魚を見学した後、それらを使って、岩屋で昔からお祭りやお正月の時にふるまわれる伝統料理「こけらずし」をつくったと思います。この「こけらずし」に使う魚として、適さない魚は次のうちどれでしょうか？

- 1 カツオ
- 2 タイ
- 3 ベラ
- 4 エソ

答え

日本海 2R

第2問

竹野に伝わる伝統料理として、おしあげ料理を勉強し、実際に使う魚の仕入れから、調理体験まで行いました。カワハギのムニエルやサザエの酢の物など、たくさんのメニューを作ったと思います。では、そのおしあげ料理の説明として、間違っているものは次のうちどれでしょうか？

- 1 秋に船を浜に押し上げ、海での仕事を仕上げたことを祝う料理
- 2 海の神様への感謝の気持ちを表す料理
- 3 漁師たちがまちの人に自らふるまう新鮮な料理
- 4 竹野でとれた魚介類や地元の調味料など、竹野産のもので作られる料理

答え